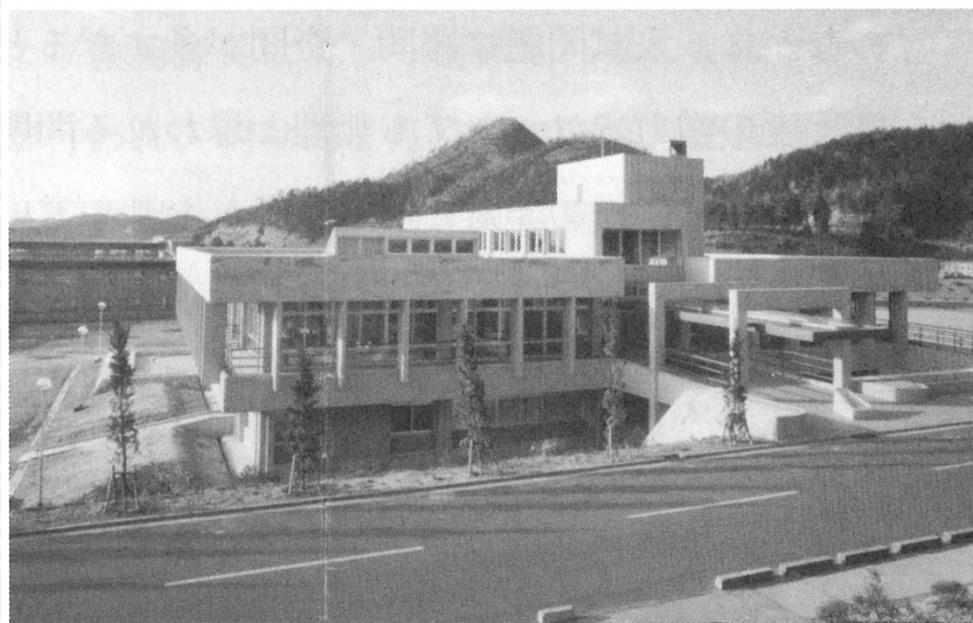




4. 姫路工業大学の充実期

附属図書館の建設

- ・単科大学として西日本一の規模
- ・竣工；昭和54年7月18日（昭和53年8月着工）
- ・総床面積；2,889.97 m²
- ・工事費；4億4,600万円



竣工時の姿

4. 姫路工業大学の充実期

入試制度の変更

- ・昭和54年度入学試験; 共通第一次学力試験
- ・昭和24年度からの**国公立大学1期校, 2期校入試制度廃止**
(姫路工大は2期校)
姫路工大の数学入試問題は難しいが良問が多く有名(昭和30年代~)
- ・平成2年度から大学入試センター試験

大学院工学研究科博士課程新設

- ・山本吉威学長
- ・昭和56年4月; 大学院工学研究科**博士課程生産工学専攻設置**
- ・**地方国立大学に先んじて開設**
- ・12講座, 入学定員6名
- ・順次講座増
- ・研究高度化のドライビングフォース

4. 姫路工業大学の充実期

博士課程生産工学専攻新設時の講座編成

7 博士課程（生産工学専攻）編成表

博士課程講座	担当教員		
	教授	助教授	講師
応用力学	関口久美	瀬尾健二	
材料強度学	泉久司	砂田久吉	
流体工学	細川欽延		
金属材料学	庄司啓一郎 荻野喜清		
材料製造工学	橋本雅彦		
環境材料学	山田巖	小寺澤啓司	
金属表面工学	鷹野修		
電子材料学	高井宗三 前田宗雄		
移動現象	井内哲		神吉達夫
化学工学単位操作	中島正基 大島敏男		
環境化学	安積敬嗣	前田嘉道	
精製工学	白子忠男	堂野礼蔵	

4. 姫路工業大学の充実期

工学基礎研究所の開設

- ・昭和57年10月;角戸正夫学長就任
- ・昭和59年4月;将来計画委員会1年間の審議結果まとめ
「明日へ躍進する姫路工業大学」(電気系, 機械系, 物質系学科の強化・拡充, 一般教育教室の強化・拡充, 工学基礎研究所の新設, 大学院制度の改革, 共通施設の整備)
- ・昭和60年6月26日; 2講座開設(2億円)
分子設計講座(田井教授, 井上助教授, 杉村助手)
物質構造講座(安岡教授, 樋口講師, 森本助手)
- ・昭和61年度; 1講座新設
物性論第1講座(川村教授, 小林助教授, 赤浜助手)
- ・昭和62年度; 2講座新設, 全5講座体制完成
物性論第2講座(小原教授, 小堀講師, 上田助手)
生体情報講座(吉川教授, 鰐木助教授, 伊藤助手)
- ・昭和62年1月; 理学部設置構想
- ・平成2年; 理学部新設, 全5講座理学部に移籍
- ・理工の学際的プロジェクト研究を行う客員部門のみとなる

4. 姫路工業大学の充実期

情報処理センター

- ・石野俊夫学長(昭和41年2月就任);電算機導入に尽力
- ・昭和44年8月15日;FACOM270-30搬入, 2号館2階
- ・昭和49年4月;汎用計算機FACOM230-25に機種変更
- ・昭和52年7月;FACOM230-38S
- ・昭和55年9月;FACOM M-160
- ・昭和58年;情報処理センター設立(電算機センター改組)
- ・昭和59年10月;FACOM M-360導入, 本館5階の旧図書館跡

40周年記念

- ・昭和59年10月19日;姫路工業倶楽部(藤花理事長)行事
学内開放, 卒業生による学術講演会;役昌明氏(特許庁審判長),
勝部幸輝氏(大阪大学教授), 飯塚信博氏(グローリー機器㈱社長)
- ・10月20日;記念式典, 記念講演会
藤尾孝氏(NHK放送技術基礎研究所長, ハイビジョンの権威)
「映像ニューメディアと将来の情報社会」
向坊隆氏(元東京大学総長, 原子力産業生みの親)
「日本の科学・技術の課題」

4. 姫路工業大学の充実期

西播磨テクノポリス構想からSPring-8の立地

- ・昭和55年;「80年代の通産政策ビジョン」テクノポリス構想
- ・昭和57年7月;テクノポリス法
- ・昭和59年9月;西播磨テクノポリス開発計画承認
- ・昭和63年4月;「播磨科学公園都市」名称決定
- ・平成元年6月;「大型放射光施設」立地決定
播磨科学技術者懇話会(角戸学長, 米花県顧問)誘致運動
6GeV SR → 8GeV SR
- ・理学部, 高度産業科学技術研究所(NewSUBARU)の設置へ

